



©吉野信

これまでの課題

トラの密度の高い中央インド全体に活動を広げること。生息地の喪失、分断化、家畜被害を原因としたトラへの報復を避けるためにコリドーを守ること。温暖化による森林火災や水不足に対処する体制を整えること。

Achievement 成果

1 森林火災の拡大防止にリーフブローアと装備を贈呈

インドではここ数年の倍近い件数の火災が起き、昨年は21.4%の森林が消失。そこで火災の拡大防止に葉っぱを吹き飛ばすリーフブローア4台と20リットル入りタンク20個をパンダブガール・トラ保護区へ贈呈。



2 人と野生動物との対立への取り組みとして新たにコリドーを守る組織を認定

中央インドでは2021年に127頭のトラが死亡。この地域ではトラの個体数が急激に増えており、生息地不足から縄張り争いで死ぬ場合もある一方、罠や意図的に動物を感電死させる密猟も多い。そこで、地域住民を「みどりのコリドーの守り手」に認定、コリドーの監視と保護に取り組んでもらう。



3 新野生生物保護区の水飲み場に水を汲み上げる太陽光発電式のポンプを設置、トラの利用も確認

新たに指定されたカンハルガオン野生生物保護区の支援を開始。この保護区は、トラの生息密度が非常に高い2つ（タドバ・アングリとカワル）のトラ保護区をつなぐコリドーとなっており、若トラの分散や、なわばりを持たない放浪トラが行き来する中継地として非常に重要。ここ数年、雨が少ないため、トラや他の野生生物のために設置した水飲み場に太陽光発電式ウォーターポンプを設置。8月にはトラや他の草食動物が池にやってくるのを確認。



残された課題

地球上にいる野生のトラの3分の2がインドに生息していますが、人とのトラブルが増加する一方です。森林局スタッフや地元の人たちと協力して、トラが移動できるコリドーを守る活動をさらに発展させること、森林火災への対処が急務です。

引き続きのサポートをお願いします。